#### 改定・発電所に係る環境影響評価の手引(正誤表)

平成27年10月

- 1. 目次-2 第4章3-(2) 誤:409頁 正:499頁
- 2. 2頁 13-14行目 不要な改行を削除
- 3. 3頁 1行目 (7) の次の\_\_(下線)を削除
- 4. 4頁 手続のフロー図を修正(修正フロー図は4頁) 準備書の環境省意見の期間「(45日以内)」を削除
- 5. 4頁~25頁、176頁~201頁 ページ番号に「- -」を付す
- 6.8頁 表2列目 「3-1 自然的状況」(1)~(6) 「3-2 社会的状況」(1)~(8) の 下線を削除
- 7. 12頁 1) ⑦の2行目の文字ずれを修正
- 8. 13頁 2) のタイトルを修正

誤:「関係地方公共団体からの意見聴取の方法」

正:「関係地方公共団体及び一般からの意見聴取の方法」

- 9. 17頁 1行目「4」の下線を削除
- 10.19頁 2行目「、風力」及び様式第1「第15条関係」の下線を削除
- 11.51頁 12行目 「(3) 風力発電所」のフォントを修正
- 12.69頁~85頁 表3列目 各2行目以降の文字ずれを修正

- 13.72頁 第12章の「12(半角)」を全角に統一 ※77頁、81頁及び85頁も同様
- 14.88頁 点線囲みの第六条第2項の文字ずれを修正
- 15. 105頁~122頁 ページ右上部のタイトルを修正

誤:「評価書公告・縦覧後」

正:「評価書の公告、縦覧後」

16.105頁、106頁 軽微変更の引用箇所を修正

誤:「第1章8参照」 正:「第1章9参照」

17. 127頁 2行目

誤:「(第1章3参照)」 正:「(第1章4参照)」

- 18.167頁 ページ右上部のタイトルを追加 「1)水力発電所の一般的な事業内容」を追加
- 19.170頁 ページ右上部のタイトルを修正

誤: 「5) 風力発電所の一般的な事業内容」 正: 「4) 地熱発電所の一般的な事業内容」

20.194頁 最下段の欄 「超低周波音」の「建設機械の稼働」の欄を削除(修正版は5頁)

- 21. 198-199頁 ページ右上部のタイトルを追加 「6) 放射性物質に係る参考項目の設定根拠」を追加
- 22.450頁 9行目 句点「。」の重複を削除

## 23. 504頁 下から4行目

誤:「第17条第3項」 正:「第31条第3項」

# 24.505頁

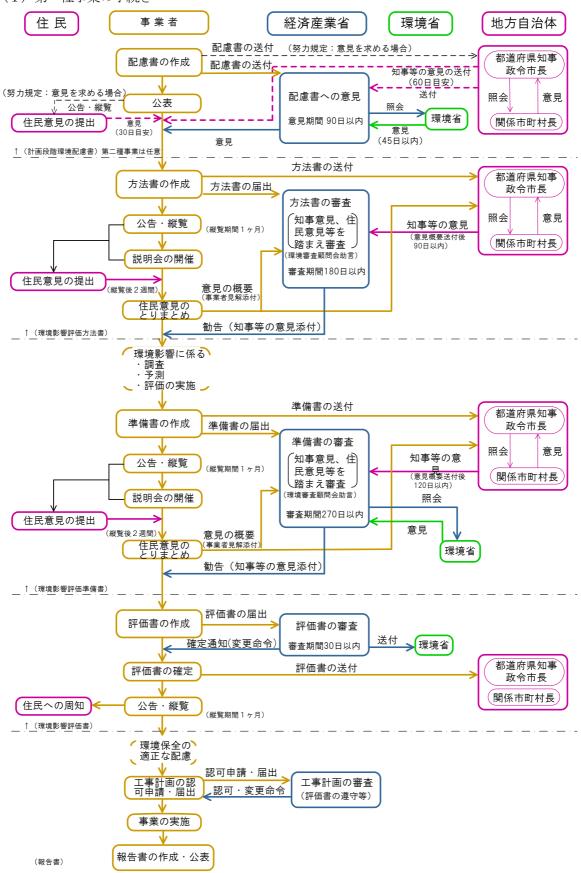
誤: 「2) 詳細な手法の考え方」 正: 「4) 詳細な手法の考え方」

## 25.505頁 2行目

誤:「第9条第3項」 正:「第23条第3項」

#### 2 手続のフロー図

(1) 第一種事業の手続き



# 5) 風力発電所に係る「参考項目」の設定根拠

環境要素の区分				参考項目 の設定	理由
大気環境	大気質	窒素酸化物	工事用資材等の 搬出入	0	工事中の資材等の搬出入に伴う影響については、広域に及ぶものとは考えられない。しかし、輸送経路の近傍に民家等が存在する場合が想定されることから、参考項目として設定する。
			建設機械の稼働	0	工事中の建設機械の稼働に伴う影響については、広域に及ぶものと考えられない。しかし、工事場所の近傍に民家等が存在する場合が想定されることから、参考項目として設定する。
			資材等の搬出入	×	供用後の資材等の搬出入については、他の発電所と比較して車両台数が少なく、一過性で軽微であると想定されることから、 参考項目として設定しない。
		粉じん等	工事用資材等の 搬出入	0	工事用の資材等の搬出入に使用する車両から、土砂粉じんの巻き上げ等が発生するが、その影響は広域に及ぶものとは考えられない。しかし、輸送経路の近傍に民家等が存在する場合が想定されることから、参考項目として設定する。
			建設機械の稼働	0	工事中の建設機械の稼働(造成面の裸地状態を含む)に伴い、 土砂粉じんの巻き上げ等が発生するが、その影響は広域に及ぶ ものとは考えられない。しかし、工事場所の近傍に民家等が存 在する場合が想定されることから、参考項目として設定する。
			資材等の搬出入	×	供用後の資材等の搬出入については、他の発電所と比較して車両台数が少なく、一過性で軽微であると想定されることから、 参考項目として設定しない。
	騒音及び超低周波音	騒音	工事用資材等の 搬出入	0	工事中は資材等の搬出入に使用する車両より騒音が発生するが、その影響は輸送経路の近傍に限られる。しかし、民家等が存在する場合が想定されることから、参考項目として設定する。
			建設機械の稼働	0	工事中は建設機械の稼働に伴い騒音が発生するが、その影響は 工事場所の近傍に限られる。しかし、民家等が存在する場合が 想定されることから、参考項目として設定する。
			施設の稼働	0	供用時は施設の稼働に伴う騒音の影響が想定されることから参 考項目として設定する。ただし、沖合に設置する発電所であっ て、沿岸部の民家等への騒音の影響がない場合は除く。
		超低周波音	施設の稼働	0	供用時は施設の稼働に伴う超低周波音の影響が想定されること から参考項目として設定する。ただし、沖合に設置する発電所 で、沿岸部の民家等への超低周波音の影響がない場合は除く。